

すまじる長中



写真：第25回 病院祭

新年挨拶

事務長 渡辺 真行

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は当院の運営につきまして、皆様より温かいご支援やご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

今年は「子年(ねどし)」、干支(十二支)の一番目の年です。“ねずみ”は当て字で「寝ず身」＝「働き者」だから財を蓄える象徴とも言われています。働き者といえば、今、医療の現場では医療従事者の働き方改革という大きな問題があります。

その他にも地域医療構想や人口減に伴う医療人材の不足、国の進める医療政策など解決・対応すべき問題が山積みみの状態です。2025年のその先、2040年を展望した医療提供体制の構築に向けて、地域の皆様と一緒に考えていかなければなりません。

当院では昨春のHCU病棟の開設や放射線治療棟の増築に続き、11月から病院スタッフによる「出前講座」を始めました。まだ、ホームページ上や口コミの状況ですが、徐々に依頼件数が増えてきております。ちょっとした集会等には是非、活用されてみてはいかがでしょうか。

さて、私も昨年7月に当院へ赴任(8年振り)してきて半年が経過しました。前任者と同様に地域の皆様に愛され信頼される病院となるよう引き続き頑張る所存です。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



冬に流行する小児の疾患について ~小児のインフルエンザで注意すること~

インフルエンザが流行しています。すでに罹患した人もいると思います。しかし、インフルエンザはひと冬に2種類のA型と1種類のB型の合計3種類が順番に流行することがありますので、これからも油断は禁物です。

小児のインフルエンザの注意点としては、有名なインフルエンザ脳症（まれです）とは別に、飛び降りなどの異常行動がみられることがあります。以前はタミフルが原因？と疑われましたが、インフルエンザそのものが異常行動の原因だとわかりました。異常行動は発熱1～2日目にあらわれ、1～2日間で軽快します。小児・未成年者がインフルエンザに罹患したら、初めの2日間は異常行動により急に外に飛び出したり階段から落ちたりしないように注意してください。具体的には、できるだけ1人にしない、玄関や全ての部屋の窓の施錠をしっかりと行う、1階で寝かせる、などです。

予防にマスクは有効ですが、つけっ放しのマスクの表面にはウイルスがいっぱい付着して感染源になることがあります。帰宅したらマスクは捨ててください。こまめに使い捨てる必要があります。はずすときはマスク本体には触れずゴムひもを持ってはずしてゴミ箱にすててください。



記事担当

小児科部長 松井 俊晴

薬剤耐性について ~今からできること~

薬剤耐性という言葉をご存知でしょうか？薬剤耐性とは、抗生物質など抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。この薬剤耐性により、国内で年間8000人以上の方が亡くなっているという推計結果が国立国際医療研究センター病院から発表されました。

では、自分が薬剤耐性にならないためにできることは何でしょうか？風邪をひいたときに抗菌薬を出して欲しいと思われるかもしれませんが、しかし、風邪の原因は、ほとんどウイルスなので抗菌薬は効きません。風邪をひいたときに抗菌薬を飲むと将来的に薬剤耐性を引き起こすかもしれません。なので、普通の風邪をひいたときは抗菌薬を飲まないようにしましょう。

しかし、抗菌薬を飲まなければならない病気もあります。抗菌薬を飲んで症状が良くなったからといって

途中で飲むのを止めてしまったり、飲む量を勝手に減らしてしまうと体内にある菌が残り、薬が効かない菌に変化して薬剤耐性を引き起こすことがあります。そうならないように、抗菌薬はお医者さんから指示されたとおりにきちんと飲むことが重要です。



記事担当

看護部 感染管理認定看護師 関 千代

医事課

医療事務を略して医事といい、医療事務全般を行っている部署を医事課と呼んでいます。医事課の主な業務は窓口業務と請求業務の2つがあります。

窓口業務では診察の受付、手続き、精算、各種書類の受付等を担当しております。受付や会計などでは多くの患者様と接する機会が多いので、患者様が快適かつ円滑に診療を受けていただけるよう自動再来受付機・外来待合表示盤・自動精算機を導入し、外来待ち時間および会計待ち時間の短縮に努め、日々の業務に励んでおります。正面窓口は来院された方が最初に接する場所であるため、笑顔で親切丁寧な対応を行うよう心掛けています。

請求業務では、診療報酬制度のもと、診療で生じた医療費を計算し、患者様に自動精算機または窓口でお支払いいただいております。また、診療報酬明細書（レセプト）を作成して保険者（健康保険証の発行元）へ請求する業務等を行っております。

今まで以上に患者様とに寄り添う接遇を行っていき、また、より快適に受診できるよう日々努めていきたいと考えております。

記事担当：医事課長 近藤 俊樹



栄養科
ワンポイント
コーナー

その年の無病息災を祈る 「七草粥」



季節の移ろいとともには暮らす日本には月ごとのハレの日があります。その基本的な行事である五節句とは、人日（1月7日）、上巳（3月3日）、端午（5月5日）、七夕（7月7日）、重陽（9月9日）のことで、奈良時代から平安時代にかけて中国からもたらされました。いずれも厄払いの行事で、ご馳走を作って神に供え、人々が集い神と共に食事をする特別な日のことです。

今回は五節句の中の1つである人日（1月7日）、七草の節句についてお話します。

1月7日は、七草粥（：7種類の若菜が入ったお粥）を食べて無病息災を願います。

七草とは、せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろの七種のことで、新年にあたり野草を食べるとその強い生命力にあやかり長生きができることとされています。また、元旦から続く正月行事が終わる頃に七草粥を食べることで、お正月のご馳走様に疲れたお腹を休める役割も担います。

最近では、ほとんどのスーパーで七草粥セットが販売されています。みなさんもぜひ1月7日は七草粥を食べ、今年1年の健康を願いましょう。



病院からのお知らせ

✓ 「出前講座」始めました

予防・保健・福祉活動を積極的に推進していくため、地域との交流・健康づくりのお手伝いの一助として当院スタッフによる「出前講座」を開始します。

出前講座の概要

開始日：令和元年11月1日

開催日時：曜日は問いません。時間は午前9時～午後9時
1講座45分程度（最小30分～最大60分）
12/31～1/3（8/15は除きます。）
平日日中は診療のためお受けできない場合があります。

講座内容：●がんの予防について ●よくわかる認知症の予防
●困った時の福祉制度 ●転ばない体作り 等
30講座を用意させていただいております。

申し込み対象：市内の住民団体・学校・企業等が主催する
集会で参加人数10名以上

会場：長岡市内

（片道30分以内が望ましい）

経費負担：講師派遣の費用は無料です。
（交通費、送迎は要相談）

申込方法：開催日1か月前以上の月末までに
申込票を郵送・FAXで受け付けております。

申込先：地域連携支援部

（代表 ☎ 電話番号 0258-35-3700）

*詳しくは長岡中央総合病院ホームページでご確認ください。

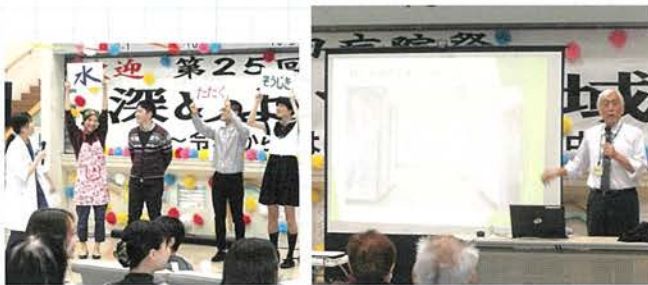
<https://www.nagachu.jp/>



✓ 病院祭開催しました

10月12日（土）台風が心配される中、病院祭を無事に開催する事ができました。模擬店や体験コーナー、職員のパフォーマンス等、様々なイベントを地域の皆様はじめ多くの方々に楽しんでいただけた事と思います。

ご来院いただき、ありがとうございました。



✓ 第4回仮装綱引き大会開催

去る11月26日、院内レクリエーションとして仮装綱引き大会が開催されました。白熱した戦いが繰り広げられ、透析チームが見事優勝を勝ち取りました。勝負もさることながら、各部署の個性溢れる仮装と真剣な応援に会場全体は盛り上がり、職員の一致団結した姿を見ることができた楽しい企画でした。



✓ 令和元年度 第1回防災訓練

令和元年12月2日（月）に職員他90名が参加し、防災訓練を行いました。院内に設置してある消火器・消火栓・防火扉の取扱い方法に説明を受け、消火器による模擬消火訓練を行いました。訓練参加者は、院内の防火設備を再確認し、火災発生時には、落ち着いて消火器を使用できるように真剣に取り組みました。

病院では、「火災、その他の災害時に、人員、施設を最大限活用し、被害を最小限に食い止め、患者、職員の生命の安全を図るための訓練」を定期的に行っています。

